

NSK建築作品展について報告

平成 31 年 2 月 18 日
企画・研修委員会合同
代表理事 西井 信幸

平成 31 年 1 月 24 日（木）～30 日（水）まで名古屋栄の久屋大通地下にあるセントラルパークのセントラルギャラリーでNSKの建築作品展を開催した。

参加事務所は 13 社 + 1 社（㈱西井都市建築設計事務所、㈱浦野設計、㈱伊藤建築設計事務所、㈱都市造形研究所、㈱ドゥプラン、㈱城戸武男建築事務所、㈱青島設計、㈱黒川建築事務所、㈱市川三千男建築設計事務所、㈱丹羽英二建築事務所、(有)建築計画工房、中日設計㈱、㈱中建設計、協賛：㈱坪井利三郎商店）で、各事務所思い思いの作品を展示し、大多数の通りを行く人々からそれらを熱心ご覧いただき、大成功であったといえる。

主催者側のセントラルパークもここは「一般の人の目に留まる隠れた最大のギャラリー」との評価の中で、いつもと違う賑わいで主催者側にも十分喜んで貰えた結果となった。

特にNSK（名古屋建築設計研究会）を一般の人に知っていただく機会はありませんので、宣伝効果は十分であった。建通新聞にも 1 月 25 日付で掲載して頂き、建通にもいくつかの問合せがあったと聞いた。

この建築作品展はNSKの設立 30 周年と社団法人 10 周年のイベントとして企画したものであったが、何年かに一度このような建築作品展を定着させればNSKもさらに発展していくものと思える。



NSK会員交流のための『名古屋街づくり講演会』の報告

平成31年2月18日
企画・研修委員会合同
代表理事 西井 信幸

NSKの建築作品展をセントラルギャラリーで開催している期間に、その近くのアネックスビル12階、銀座アスターにて会員交流のための『名古屋街づくり講演会』を開催した。食事つきの為会費は5000円であったが、会員35名・会員外6名（講師2名、スポンサー2名を含む）の合計41名（講演会は42名）で当初の予想人数を上回り、盛況な会となった。特に会員交流会ということで代表理事が会員全ての41社に電話連絡をして参加をお願いしたことで、出欠はともかくその返事だけでも十分交流が出来たと思っている。

街づくり講演会はまず、名古屋学院大学 現代社会学部長の井澤知且氏の『名古屋の発展・5つのエポック』では名古屋の歴史的な街の成り立ちを解説して頂き、これからの街づくりに歴史的な視点が加わった。

一方、名古屋市会議員の小出昭司氏の『名古屋の戦略的街づくり』では、現在の名古屋の街づくりにおけるホットな資料、特に名駅リニア関係、栄関係、更に都心部の容積率アップとの再開発の方法など日頃目にする事の出来ない資料や新しい街づくりのニュースも頂き、これからの名古屋の街づくりに欠かせない視点を与えて貰った。

最後に私から、私の事務所の所在地である久屋大通再整備計画の特に北エリアについて説明し、その問題点 一現況の2/3以上の樹木の伐採や、イベントを含む芝生広場の運営管理や指定管理者の役割等一を指摘した。そして街づくりが成功した例（大須）と失敗した例（オズモール）を挙げ、地域の住人との関わり方が問題であると説明した。会場からは現在の街づくりにいくつかの質問と課題が出て、講演者との質疑応答が行われた。この講演会後の第2部はスポンサーの坪井氏の挨拶の後、副代表の小田氏の乾杯の音頭で始まった。会の途中で今年のツキ男を選ぶジャンケン大会を行い、最後に副代表の伊井氏の一本締めで盛況のうちに終了した。

